

**平成 28 年度千葉市保健福祉局指定管理者選定評価委員会
第 1 回高齢者施設部会 議事録**

1 日時：平成 28 年 8 月 23 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 33 分

2 場所：千葉市役所 議会棟 3 階 第 3 委員会室

3 出席者：

（１）委 員

田島昇委員、西尾孝司部会長、八田和子委員、松下やえ子副部会長

（２）事務局

鳩川高齢障害部長、若菜保健福祉総務課長、南高齢福祉課長、八巻高齢施設課長、
小野保健福祉総務課主査、古生高齢福祉課主査、村松高齢施設課主査、
鴨作保健福祉総務課主任主事、木平保健福祉総務課主事、櫻田高齢福祉課主事、
渡邊高齢施設課主事

4 議題：

（１）年度評価について

ア 千葉市いきいきプラザ

（中央、花見川、稲毛、若葉、緑、美浜）

イ 千葉市いきいきセンター

（花見川、あやめ台、大宮、都賀、越智、蘇我、さつきが丘、真砂、土気）

ウ 千葉市幸老人センター

5 議事の概要：

千葉市いきいきプラザ（中央、花見、稲毛、若葉、緑、美浜）、千葉市いきいきセンター（蘇我、花見川、さつきが丘、あやめ台、大宮、都賀、越智、土気、真砂）及び千葉市幸老人センターにおける平成 27 年度の年度評価について、事務局からの説明の後、質疑応答を行い、委員会の意見を取りまとめた。

6 会議経過：

○小野保健福祉総務課主査 それでは、予定の時刻となりましたので、はじめさせていただきますと思います。本日はお忙しいところお集まりいただきまして、どうもありがとうございます。私は、本日の司会を務めさせていただきます保健福祉総務課の小野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それではまず、お手元に配付した資料の確認をさせていただきます。配付資料ですが「次第」「委員名簿」「席次表」「部会の進め方」、事前に青色の分厚い「ファイル」をお配りしております。不足等がありましたらお知らせ願います。

続きまして、会議の成立についてご報告します。本日の出席委員は総数 5 名中、小田委員が欠席ということですので、4 名ということです。半数以上にご出席いただいておりますので「千

葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例 第 10 条第 2 項」に基づき、会議は成立しております。また、市の情報公開条例 第 25 条の規定に基づき、本日の会議は公開となっておりますので、お知らせいたします。それでは、開会に当たりまして、高齢障害部長の鳩川よりご挨拶申し上げます。

○鳩川高齢障害部長 皆さん、こんにちは。高齢障害部長の鳩川です。開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところご出席を賜りありがとうございます。また、日頃から本市の保健福祉行政にいろいろとご協力を賜りまして、併せて心から感謝を申し上げます。

本日の高齢者施設部会は、指定管理者が昨年度に行った管理等に対して評価をしていただくこととしております。指定管理者制度は、市の方としてもある程度根づいたとは思っておりますが、やはり評価というのは非常に重要であると考えております。皆様の豊富な経験と専門的な立場から、忌憚のないご意見ををいただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

○小野保健福祉総務課主査 それでは、ここから先の進行は、西尾部会長様にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○西尾部会長 はい。それでは議事に入ります前に、本日の審査の流れ等について事務局より説明をお願いいたします。

○若菜保健福祉総務課長 はい。保健福祉総務課長の若菜でございます。失礼して着席してご説明いたします。

机上に配付しております資料 1 「部会の進め方」 A 4 の用紙をご覧ください。本日の審査の流れでございます。まず①年度評価の説明ですが、当局から指定管理者の昨年度の施設管理の実績や業務の履行状況について、資料に基づき説明いたします。次に②年度評価の質疑応答を行います。ここでは質疑のみを行い、ご意見等につきましては後ほど頂戴いたします。

続きまして、年度評価の意見協議に入ります。まず、③財務状況からご意見を伺います。ここでは指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するため、公認会計士である田島委員から財務諸表についてご意見をいただき、皆様のご意見を取りまとめたのち、部会の意見案を決定していただきます。

なお、いきいきプラザ、いきいきセンターにつきましては、いずれも社会福祉法人千葉市社会福祉事業団が指定管理者である関係で、最初のいきいきプラザの審査において、財務状況に対する意見を決定していただき、いきいきセンターの審査では、財務状況に関わる意見聴取は省略します。

次に④管理運営について、ご意見を伺います。ここでは、今後の指定期間において、より適切に管理運営がなされるよう「管理運営のサービス向上」や「業務効果」「効率化の方策」「改善を要する点」「評価をする点」などのご意見をいただきたいと思います。委員の皆様からの意見について協議・調整していただいたのち、最終的な部会の意見案を決定していただきます。

なお、平成 22 年度の第 1 回の委員会において、部会の既決事項を委員会の既決事項とする旨決定しておりますことから、ここで決定したご意見を委員会として市長に答申いただくこととなります。

また、当該意見については、評価シートの「6 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見」欄に掲載され、ホームページ等で公表されます。評価に関わる「部会の進め方」については以

上でございますが、各いきいきプラザ6施設、いきいきセンター9施設につきましては、評価シートは別々ですが、それぞれ同種の施設であることから、審査については一括で行っていただきます。審査の順番につきましては、まず「いきいきプラザ」、次に「いきいきセンター」、その後休憩をはさみまして、最後に「幸老人センター」の順に行いますのでお願いいたします。

説明は以上でございます。

○西尾部会長 はい。ただいまの事務局の説明に対して、何かご質問等がありましたら、ご発言をお願いいたします。特によろしいですか。ご発言がなければ、早速、議事に入ります。

なお、ご発言の際には、お名前を述べてから行なっていただきますようお願いをいたします。

では、議題「（１）年度評価について」の「ア 千葉市いきいきプラザ」についてです。事務局より説明をお願いいたします。

○八巻高齢施設課長 はい。高齢施設課長の八巻でございます。よろしくお願いいたします。失礼して、座って説明させていただきます。

それでは、評価シートの説明に入る前に、千葉市いきいきプラザについてご説明させていただきます。

いきいきプラザは老人福祉法に定められた老人福祉センターにあたるもので、無料または低額な料金で高齢者に関する各種の相談に応ずるとともに、高齢者に対して「健康の増進」「教養の向上」及び「レクリエーションのための便宜」を総合的に供与することを目的とする施設とされております。

本市におきましては「いきいきプラザ」と「いきいきセンター」の２種の老人福祉センターを整備しております。いきいきプラザは各区１か所で計６プラザを、いきいきセンターは市内に９か所を整備しております。なお、ファイルにて事前にお配りした資料では、指定管理の単位ごとの区分けでまとめていましたが、６か所のいきいきプラザは、いずれもほぼ同様の事業を実施しておりますので、いきいきプラザ６施設についてまとめて説明をさせていただき、その後いきいきセンター９施設についてのご説明をさせていただきます。

それでは「千葉市いきいきプラザ」の指定管理評価シートについてご説明いたします。最初に「中央いきいきプラザ」を詳細に説明させていただき、それ以外のプラザについては特徴ある部分のみを説明させていただきます。先ほど申し上げましたが、いきいきプラザではほぼ同様の事業を実施しておりますが、一部の施設のみで提供しているサービスが２つございます。

１つ目は、平成２７年度まで指定管理で行ってございました「老人デイサービスセンター」でございます。こちらの事業は、要介護及び要支援認定を受けた方に対する介護サービスの１つの事業であり、中央・花見川・美浜の３か所のプラザでの実施となっております。なお、デイサービスセンターにつきましては、平成２８年度からは千葉市社会福祉事業団の自主事業として行っております。

２つ目は、入浴設備でございます。花見川・稲毛・若葉・緑の４か所のプラザで浴室が利用できます。残りの中央・美浜の２か所につきましては、シャワー設備を設置しております。

それでは、中央いきいきプラザの評価に入らせていただきます。資料１－１をご覧くださいませでしょうか。まず「２ 管理運営の実績」の（２）利用状況でございますが、平成２７年度の利用者数は６５，１１３人で、前年度を２．４％下回っております。これにつきましては、利用者の高齢化による４つの同好会の解散や、個人利用の減少が主な要因だと考えられます。

次に２ページを開いていただけますか。（５）市への不服申立てですが、今年度はございま

せんでした。なお、今年度に関しましては、いずれのいきいきプラザ・センターにおきましても、市への不服申立てはございませんでしたので、以後、説明は省略させていただきます。

次に「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてですが、各いきいきプラザでは、利用者の満足度やご意見・ご要望を把握し、今後のサービスの向上を図ることを目的に、毎年アンケート調査を実施しております。アンケートにより得られた主な意見とその対応につきましては、各施設に同様の意見が多かったことと、今年度より各施設の事業報告書において「モニタリング調査の実施」の項目に含めて記載しておりますので、説明は省略させていただきます。

次に3ページをお開きいただけますでしょうか。（2）市に寄せられた意見、苦情ですが、今年度はございませんでした。これ以降の説明に関しましては、該当がない場合は省略させていただきます。

続いて「5 市による評価」です。まず評価の基準をご説明いたします。評価はS、A、Bの3段階に分かれております。Sは、仕様、事業計画を超える実績・成果が認められるなど、管理運営が特に良好に行われた場合。Aは、概ね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われた場合。Bは、仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められず、管理運営に関して改善を要する事項があった場合の評価となります。

中央いきいきプラザに対する市の評価は「A」としたところです。所見でございますが、概ね良好に管理運営されており、講演会についても市の基準を上回って開催しているとともに、生きがい活動支援通所事業においても、独自のイベントを実施している点を評価いたしました。また「利用者の声」を細かく記録し、利用者の意見やニーズに迅速に対応できている点も評価いたしました。

次に、4ページをお開きいただけますでしょうか。「履行状況の確認」についてです。これは、ただいまご説明した市の総合評価をする上での確認事項となるわけですが、市の所管課職員が今年2月から3月にかけて直接施設に赴き、管理運営の状況等を確認したところです。確認した結果について、確認事項ごとの履行状況欄内に点数を記載しております。

点数の基準ですが、3段階に分けております。3点は「仕様、提案を上回る実績・成果があった」と判断した場合です。2点は「仕様、提案どおりの実績・成果があった」と判断した場合です。1点は「仕様、提案どおりの管理運営が行われなかった」場合でございます。

「履行状況の確認」では（1）市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理、（2）施設の効用の発揮、施設管理能力、（3）管理経費の縮減の各項目について確認をしたところでございます。その中で（2）施設の効用の発揮、施設の管理能力のうち、講演会については管理運営基準を上回る回数を実施していたので「3点」、世代間交流については事業計画で定めた基準に実施回数が満たなかったため「1点」といたしました。

また、生きがい活動については、独自のイベントを取り入れ、基準以上の運営がされていたため「3点」、デイサービス利用中の事故への対応について、利用者の容体急変等に適切に対応しているとともに、事故になる前のヒヤリ・ハット事例を全職員に回覧し、情報共有を図るなどの点が優れておりましたので「3点」といたしました。

これ以外の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められたので「2点」としたところでございます。これらの履行状況及びアンケート結果を併せて総合的に判断いたしまして、市による評価を「A」としたところでございます。以上、「千葉市中央いきいきプラザ」の説明とさせていただきます。

続いて「花見川いきいきプラザ」についてご説明いたします。なお、これ以降は時間の制約もありますので、先ほど説明させていただいたとおり、同様の内容については説明を省略させていただき、特徴的な事項のみを説明させていただきます。

それでは、資料 2-1 をお開きいただけますでしょうか。「2 管理運営の実績」(2) 利用状況ですが、利用者数は 81,644 人で、前年度を 3.1% 上回っております。これにつきましては、講演会、地域交流会、世代間交流について内容の充実を図り、かつ開催回数を増やすことにより、参加者数増へとつながったことが要因だと考えられます。

次に 3 ページ「5 市による評価」ですが、評価は A で、所見は概ね良好に管理運営されており、講演会や世代間交流については市の基準を上回って開催しているとともに、生きがい活動支援通所事業においても、独自のイベントを実施している点を評価いたしました。

次に、4 ページを開きいただけますでしょうか。「履行状況の確認」についてですが、講演会や世代間交流において、管理運営の基準を上回る回数を実施しておりましたので「3 点」、生きがい活動については、独自のイベントを取り入れ、基準以上の運営がされていたため「3 点」、デイサービスセンターにおいても、事故になる前のヒヤリ・ハット事例を全職員に回覧し、情報共有を図っているなどの点から優れており「3 点」といたしました。これ以外の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められたので「2 点」としたところでございます。花見川いきいきプラザの説明は以上でございます。

続いて「稲毛いきいきプラザ」についてご説明いたします。資料 3-1 をご覧いただけますでしょうか。まず「2 管理運営の実績」(2) 利用状況ですが、平成 27 年度の利用者数は 67,942 人で、前年度と比較してほぼ横ばいの状況です。

次に、戻りまして 3 ページの「5 市による評価」ですが、評価は「A」で、所見としては概ね良好に管理運営されており、講演会や世代間交流については市の基準を上回って開催している点や、実施した事業が地域の介護予防の取り組みへとつながっている点を評価いたしました。

次に「履行状況の確認」についてですが、講演会や世代間交流において、管理運営の基準を上回る回数を実施しておりましたので、それぞれ「3 点」といたしました。これ以外の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2 点」といたしました。稲毛いきいきプラザの説明は以上でございます。

次に「若葉いきいきプラザ」についてご説明いたします。資料 4-1 をご覧いただけますでしょうか。まず「2 管理運営の実績」(2) 利用状況ですが、平成 27 年度の利用者数は 85,835 人で、前年度と比較してほぼ横ばいの状況でございます。

次に、2 ページをお願いいたします。「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」(2) 市に寄せられた意見、苦情に関してですが、1 件ございまして「浴室の天井のカビが気になる」との内容でした。こちらにつきましては、施設における清掃の状況について本人に回答し、ご納得いただいたところでございます。

次に 3 ページをお開きいただけますか。「5 市による評価」ですが、評価は「A」で、所見は概ね良好に管理運営されており、講演会や世代間交流については市の基準を上回って開催している点や、ボランティア募集の周知を行い、ボランティアの受け入れを積極的に行った点を評価いたしました。

次に「履行状況の確認」についてですが、(2) 施設の効用の発揮、施設管理能力のうち、ボランティアの積極的な受け入れ及び活用について、ボランティアの募集や依頼を幅広く行い、

受け入れを積極的に行っているため「3点」、講演会、世代間交流については、管理運営の基準を上回る回数を実施しておりましたので、それぞれ「3点」といたしました。これ以外の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」としたところでございます。若葉いきいきプラザの説明は以上でございます。

次に「緑いきいきプラザ」についてご説明いたします。資料5-1をご覧くださいませでしょうか。まず「2 管理運営の実績」(2)利用状況ですが、平成27年度の利用者数は57,667人で、前年度と比較してほぼ横ばいの状況です。

次に3ページをお開きいただけますか。「5 市による評価」ですが、評価は「A」といたしました。所見としては、概ね良好に管理運営されており、講演会や世代間交流については市の基準を上回って開催しているとともに、近隣の関係機関と連携しての事業の企画や、広報活動を積極的に実施している点を評価いたしました。

次に「履行状況の確認」についてですが、(2)施設の効用の発揮、施設管理能力のち、講演会や世代間交流において、管理運営の基準を上回る回数を実施しておりましたので「3点」といたしました。これ以外の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められたので「2点」といたしました。緑いきいきプラザの説明は以上でございます。

最後に「美浜いきいきプラザ」についてご説明いたします。資料6-1をご覧くださいませでしょうか。まず「2 管理運営の実績」の(2)利用状況についてですが、平成27年度の利用者数は131,284人で、前年度を11.2%と大きく上回っております。これにつきましては、同好会が新規に3団体に増えたことや、囲碁・将棋・ヘルストロン等の個人利用者が増加したことが、主な要因だと考えられます。

次に、3ページをお開きいただけますでしょうか。「5 市による評価」です。評価は「A」で、所見としては概ね良好に管理運営されており、講演会や世代間交流については市の基準を上回って開催しているとともに、生きがい活動支援通所事業においても、独自のイベントを実施している点を評価いたしました。

次に、4ページをお開きいただけますでしょうか。「履行状況の確認」についてです。(1)市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理のうち、「苦情への適切な対応の体制の整備」について、利用者意見の記録及び職員間の周知が適切に行われていなかったため「1点」、(2)施設の効用の発揮、施設管理能力のうち、講演会や世代間交流において管理運営の基準を上回る回数を実施しておりましたので「3点」、生きがい活動については独自のイベントを取り入れ、基準以上の運営がなされていたため「3点」、事業の実施(デイサービスセンター)においても、事故になる前のヒヤリ・ハット事例を全職員に回覧し、情報共有を図っているなどの点から優れており「3点」といたしました。

これ以外の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」といたしました。美浜いきいきプラザの説明は以上です。

最後に、いきいきプラザ全体をとおしての評価内容になりますが、今回の指定管理期間を通じて、それぞれの施設が近隣の関係機関と連携を図り、介護予防や認知症予防といった地域福祉の問題を、積極的に事業内容に取り入れる割合が増えてきています。その中から、いきいきプラザの事業実施後に、地域の住民による自主的な介護予防の取組みが生まれるなど、少しずつではありますが、いきいきプラザ・センターの取組みが、地域社会の中に還元される状況が広がってきていると言えます。

今後も、28年度からのプラザ・センターの一括指定を生かし、各施設が情報共有や連携をさらに深め、市内の地域福祉の拠点としての役割を積極的に担ってほしいと考えております。いきいきプラザの年度評価に関する説明は以上でございます。

○西尾部会長　それでは、まず質疑応答から行いたいと思います。ご発言の際、個別の施設に対するご質問の場合は、対象となる施設を明確にさせていただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。また、ご意見は後ほどお聞きいたしますので、よろしくお願いします。それでは、ご質問がございましたらお願いします。

○八田委員　資料1－3の「中央いきいきプラザ」の4ページの会議の回数ですが、一番上の「プラザ・センター職員会議11回」となっておりますが、事業計画では1年間に12回となっています。1回だけですが、少なくなったのはどういう理由からでしょうか。

○事業者（中央いきいきプラザ）　はい。すみません。中央いきいきプラザの中田です。よろしくお願いします。基本的には毎月1回の職員会議ということで12回の予定でしたが、ちょっとはつきりしません、8月には職員がなかなか集まらないので「いきいきプラザ」「デイサービス」「蘇我いきいきセンター」では、それぞれ8月の結果と9月の予定を書類で出し合って1回省いた状況がありました。

○西尾部会長　他はいかがですか。単純なことですが、生きがい通所事業利用の登録の方は延べでどれぐらいいらっしゃるのですか。一日あたり10数人のご利用ですが、毎日来ているのではないのだろうと思います。どれぐらいの方が実際には利用されていますか。

○事業者（中央いきいきプラザ）　すみません。定員がそれぞれありまして、ほとんどのプラザ・センターの定員が1日あたり15人×5日ですから、80人の登録になります。ただ、「都賀いきいきセンター」や「美浜いきいきプラザ」は定員が18とか20名になりますが、だいたい15名の定員になります。

○西尾部会長　80人の登録の方が、曜日によって…。

○事業者（中央いきいきプラザ）　75ですね、すみません。15×5です。

○西尾部会長　例えば、月曜日に来る方は毎週月曜日にいらっしゃるということで。

○事業者（中央いきいきプラザ）　そうですね。1週間に1回ということで、火曜日の方、水曜日の方ということで15人ずつです。

○西尾部会長　もう一度それに関連してですが、登録になる方々のリクルートと言うのか、登録まではどのようなプロセスでお決めになられてますか。はい、お願いします。

○事業者（中央いきいきプラザ）　一応、対象の方は千葉市内に在住の65歳以上の、介護認定を受けていない比較のお元気な方ということで、市政だよりで公募をします。市政だよりを見て、はがきでお申し込みいただく形になります。新規が優先ということなので、まったく新規の方は優先的に当選となりますが、定員の空きがあれば継続の方もその次に抽選して15名の枠を埋める流れになります。

○西尾部会長　はい、ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

○八田委員　どこの施設というわけではないのですが、とりあえず中央いきいきプラザです。1－3で21ページの「機能回復訓練」です。今は2か月コースになっていますが、28年度からは3か月コースになるということです。これは、すべてのプラザやセンターでも同じように3か月にするというのでしょうか。

○事業者（中央いきいきプラザ）　統一です。27年度まではすべてのプラザ・センターで2

か月 1 クールでしたが、利用者の方のたくさんの声がありまして、もう少し回数を増やして欲しいというニーズに合わせ、3 か月 1 コースということで、全プラザ・センターで統一しております。

○八田委員　そうすると、定員自体は変わらないわけですから、当選する方というか、登録できる方はちょっと減りますが、当たれば 3 か月間ということですね。

○事業者（中央いきいきプラザ）　それも、生きがいと同じように、機能回復訓練は新規の方を優先ということです。とにかく新規の方を優先的にお受けするという形で、なるべく入れ替えはできるような形で行なっています。欠員があれば継続の方も改めて申し込みができます。

○八田委員　ありがとうございます。

○西尾部会長　はい。どうぞ。

○松下副部会長　私からは、1－3 で 60 ページの「生きがい活動支援通所事業」のモニタリングの集計表です。他のプラザにも共通する集計の仕方かと思いますが、例えば「やや不満」という欄を、どのくらい不満をお持ちの方がいらっしゃるかと思って見た時に、この表の数字はパーセンテージですよね。そうすると、上の回収数 68 が母数ということなのでしょう。

○事業者（中央いきいきプラザ）　ここでいくと、68 人の中の「やや不満」は、4 人になります。68 人いらっしゃるって、4 人の方が「やや不満」ということです。

○松下副部会長　1 %なのですが、そうすると 1 人にも満たないということでしょうか。ずっと後ろの表まで、全部その表記なのです。例えば 1－1 で 3 ページ「調査の結果」の表記では「満足」が何人で全体の何%、「やや不満」が何人で何%という表記ですが、この生きがい活動支援通所事業に関してのみ、この表記なのです。実際は何人ぐらいいらっしゃるのか、計算をしても 0.68 人と出てきてしまうので。

○事業者（中央いきいきプラザ）　ちょっと今、詳しい数字を持ってこなかったのですが、1 %というのは、68 人のうち 1 人いたら、切り上げ・切り捨てで 1 %という形で出しています。

○松下副部会長　そうすると、3 %は単純に計算すると 2.04 だから、2 人いたので切り捨てをして 3 %とされているのでしょうか。できれば、1 のような表記がとてもわかりやすいかと思いました。すみません、これは意見かもしれません。

○西尾部会長　他はいかがでしょうか。

○松下副部会長　もう一点、よろしいでしょうか。1－1－4 です。中央いきいきプラザだけでなく、1－1－4 「事業の実施」のデイサービスセンターでのサービス利用中の事故については、「3」という評価のいきいきプラザがいくつかあるかと思います。

この評価については、昨年もここで質問させていただいたかと思いますが、事故に対して適切に対応するのは当然のことであり、ここでの「3」の評価は、ヒヤリ・ハット事例を皆さんで回覧し共有しているところでの評価であると、昨年は回答いただいたかと思いますが。ヒヤリ・ハット事例はどのくらいあるのでしょうか。

○事業者（中央いきいきプラザ）　はい、すみません。中央いきいきプラザの正式な事例数は今持っていないのですが、中央いきいきプラザとしては、本当に些細なことであっても、ヒヤリ・ハットとしてすべて上げさせております。その中で介助員、指導員、看護師、また、係長、所長まで必ず回覧で捺印するような形をとって、その書類を全部溜めております。すごく感覚的ですが、だいたい月一ぐらいでは上がってくるケースだと思います。

○松下副部会長　はい、ありがとうございました。

○西尾部会長 他はいかがでしょうか。ご質問はよろしいですか。ご質問がないようであれば「意見協議」に入りますが…。はい、どうぞ。

○八田委員 資料3-4の6ページ一番上ですが、浴室の脱衣場のロッカー扉で頭を打ちつけて、出血なさった方がいらっしゃったということですが、稲毛いきいきプラザでは「保険対応なし」となっています。これはどうしてでしょうか。他の事故については保険で対応しているのですが。

○事業者（稲毛いきいきプラザ） 稲毛いきいきプラザの岩村です。これは、ご自身の脱いだ物を入れている浴室についているロッカーですが、そのドアを開けていて、ご自身が頭を上げた時に開けっ放しのためぶつけてしまいました。出血もありましたので、念のため救急車を呼んだ事例です。実際は、大事には至らなかったのですが、一応頭部を打っているということなので、念のため救急車で搬送したということです。

○西尾部会長 ご質問の趣旨は「ここは保険対応なしですが、どうしてでしょうか」ということです。

○事業者（稲毛いきいきプラザ） そういった場合、ご自身の不注意による事故が前提になっていますが、ご自身のご希望としては、その時に「どうされますか」と尋ねたら、「いい。もう何もやらないでくれ」というご意思もありました。また、「一応大丈夫だったから」ということで、すぐにご連絡をいただいたので、施設としてはその後の保険対応はしておりません。

加えて、この方は生保だったので、施設としては保険対応というところはありませんでした。あとは医療券ですが、生保の方ですので、その対応はご自身の方でということです。

○八田委員 生活保護ですので医療券ということで、その方自身の自己負担は、実質的にはなしということですか。

○事業者（稲毛いきいきプラザ） ないです。

○八田委員 ご本人が希望されれば、本来であれば保険対応されるということでしょうか。

○事業者（稲毛いきいきプラザ） ただ、言い方は不十分だったのですが、生保の方なので基本的には保険対応というものは…。ただ、慰謝料とか、そういう話が出てくるような事故でしたら、保険対応の部分も出てくるとは思います。そこまでは至らない事故でしたので。

○八田委員 生保の方であったので、今回は保険対応がないということですね。

○事業者（稲毛いきいきプラザ） 医療券での処理の仕方の範囲で済んでいるということです。

○八田委員 はい、ありがとうございます。

○西尾部会長 よろしいですか。補足的な説明は何かございますか。よろしいですか。他にご質問はいかがでしょうか。

○松下副部会長 資料の4-5のモニタリングですが、77ページ一番上の平成28年2月～3月のコースです。実は、ここだけ講師の説明について「やや不満」が60%あります。他のところはものすごく評価が良くてほとんどが0%ですが、77ページのこの月だけ講師に対し「やや不満」が60%になっています。これは講師の変更があったのでしょうか。それとも集計の方法が何か違ったのでしょうか。

○事業者（若葉いきいきプラザ） はい。すみません、若葉いきいきセンターの河野と申します。今、ご指摘のあったアンケートの結果は、若葉区にある都賀いきいきセンターを会場としているもののアンケート結果になります。若葉の方で大宮、都賀も把握しておりますので、

ちょうど出ていたそのままの結果を出しているとは思いますが、講師については特に変更はしておりません。

この講師への不満ですが、私も手元のアンケート結果の数字しか見ていませんが、都賀の会場につきましては、毎週、理学療法士がやる回と、理学療法士に準じた介護予防指導士がやる回があります。一応、理学療法士さんが月のうち2回で、あとは介護予防士の者になります。そこで若干解説などの専門的に担う部分で、体操指導のところでの統一性がないというのか、受講される方は毎回一緒ですが、回ごとに理学療法士と介護予防指導士ということで「体操に対するアプローチの説明に違いがある」という指摘があったようには記憶しております。

○松下副会長 すみません。いきいきセンターの集計でした。申し訳ありません。

○西尾部会長 他はよろしいですか。では「意見協議」に入りたいと思います。

それでは、まず、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、「指定管理者の財務状況」について、ご意見を伺いたいと思います。指定管理者である法人の3年分の決算書類をすでにお配りしておりますが、これらの資料をもとに、まず、田島委員より専門的見地からのご意見をお聞きしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○田島委員 それでは、私からご説明させていただきます。毎回でございしますが、大変恐縮です。いただいた決算書に基づいての意見となりますので、詳細な内容につきましては帳簿等まで遡りませんと、何とも言えないところもあります。その点だけお含みおきいただければと思います。

それでは、資料10をお開きいただくと「資金収支計算書」が提示されております。こちらはいわゆる実際の資金（現金・預金）の入出金状況を表している帳票になってまいります。「予算」と「決算」とその「差異」となっております。

決算の欄をご覧くださいますと、事業活動収入合計33億円、事業活動支出33億円ということで、差額ですが7,900万円の資金獲得という状況になっております。「施設整備等による収支」もその下段に、それから「その他の活動による支出」もございしますが、こちらの法人ではトータルで27年度に1,600万円手元の現金・預金が増加した結果になっております。

予算上は、1億2,000万円のマイナス予算を組んでいらっしゃったわけですが、こちらで大きく変わったところと言いますと、事業活動収支のところを800万円ほどマイナス予算で組んでいらっしゃったものが、こちらの着金は7,900万円の黒字という状況でした。ここで予算と実績の差として8,800万円が出ている状況になっています。なお、収入の方が若干多く出ているということです。支出の方の削減としては、特に人件費が7,300万円予算より少なかったところを、大きな要因として見ている状況です。

おめくりいただいて75ページになります。こちらは「事業活動計算書」で、いわゆる一般的に言います損益計算書になります。「当年度決算」と「前年度決算」、それから「増減」という三段になっております。ご覧いただくのは、まず、一番上段の「サービス活動増減額」ですが、こちらは当年度「サービス活動増減差額」として1億9,500万円の黒字という状況になります。

また、「サービス活動収支」「サービス活動の増減」「特別損益の増減」であまり大きな動きはありませんので、ほぼこのまま下段の「税引前当期活動増減差額」が2億100万円の黒字という状況になります。若干の法人税等がありまして「当期活動増減差額」は1億9,600万円と黒字になっております。昨年度と比較しまして、若干減少という状況ではございますが、健

全な経費計上がなされている法人活動という状況でございます。

それから、81 ページにいていただくと、こちらが「貸借対照表」です。こちらも「当年度末」「前年度末」、それから「増減」という三段になっています。ご覧いただくと、まず、一番左上の「当年度末流動資産」ですが、7 億 8,700 万円の流動資産の額がございます。これは、ほとんどが預金になります。一般的に見ると、これに対応する流動資産は、右側にいていただきますと当年度額 4 億 6,800 万円ですが、こちらを流動資産の方が上回ってれば「短期的な安全性も高い」と言われます。

こちらの法人の場合、固定負債のところが 5 億 8,400 万円とありますが、こちらは退職給付引当金 5 億 6,400 万円と、収支とんとんでございます。この退職給付引当金の 5 億 6,400 万円につきましては、法人設立の関係もあって、15 年間にわたり市から補填いただけるという契約もございますので、現状では 5 億 6,400 万円が負債側となってくるわけですが、こちらはあまり気にするまでもないと考えられます。

ですから、現状の法人の貸借対照表を拝見しますと、いわゆる流動負債、固定負債はありますが、負債側の金額をすべて流動資産でも超過している状況ですから、財務内容としては非常に健全な状況になっています。左側の固定資産のところ、特に「その他の固定資産等」をご覧いただくと、下段に「退職給付引当資産」「施設整備積立資産」といった科目が結構な金額ございます。現状でこういったものは、ほぼ銀行預金でプールをしていらっしゃるようです。

ですから、財務内容からしまして今後 1 年間なり 2 年間なりで事業継続が難しくなるようなことは、この内容から拝見するととても想定はできませんし、非常に安全性の高い状況で運営されているとご理解いただいて、よろしいかと感じております。

それから、念のためと言いますか、91 ページの財産目録には 27 年度末のものがついてます。ご覧いただきますと、資産側はほとんどが銀行預金ということです。気になるころと言いますと、いまは銀行預金でもほぼ利息のつかない状況になっております。そういった点では、法人の運営上もかつてと比べ若干厳しいことがおありかとは思いますが、現状は、毎年の事業活動においてもプラスを維持できているので、気にされることはないと考えております。

簡単でございますが、以上でございます。

○西尾部会長 ありがとうございます。ただいまのご意見を踏まえ、他の委員の皆様から、何かご意見がございましたら、お願いいたします。ご意見はよろしいですか。

それでは「千葉市いきいきプラザにおける指定管理者の財務状況」に関しまして、当部会の意見としては「安定的な運営が見込める」という趣旨でまとめさせていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○西尾部会長 それでは、その旨決定いたします。なお、後ほど審査いたします「千葉市いきいきセンター」につきましても、指定管理者が同一であることから、当該意見を部会の意見とさせていただきますので、ご了承をお願いいたします。

続きまして、「施設の管理運営」について、意見協議に入ります。ここでは「管理運営のサービス向上や業務効率化の方策」「改善を要する点」、また「評価する点」などについてご意見を伺いたいと思っております。

なお、ご発言の際は、いきいきプラザ共通のご意見なのか、個別の施設に対するご意見なのかを明確にしてご発言いただきますよう、よろしくご協力をお願いいたします。それでは、何

かご意見はございますでしょうか。いかがでしょうか。

私からですが、報告書が非常にわかりやすいと思います。どのようなことをなさっているのか、それがわかりやすい報告書になっています。その点はとてもありがたいし、良いことだろうと思いました。また、全体に対してですが、様々な独自の取組み、講演会等を行なっていて、意欲的な努力を重ねている印象を受けました。細かな苦情にもすぐに対応しているようです。これも迅速な対応をされているので、評価をして良いのではないかと感じました。

○八田委員 2の花見川いきいきプラザの通所介護です。2－4の43ページで、要介護度別の利用者を見ますと、要介護度5が多いのです。積極的に重度の方を引き受けられています。他にも、ここ以外にもいろいろ医療的な物言いが必要であったり、胃ろうの方であったり、他のデイサービスでは受け入れられない方も積極的に受け入れていることが、ここに表れているのかと思います。これは高く評価できると思います。

○西尾部会長 他にご意見はいかがでしょう。

○松下副部長 はい。いきいきプラザ全体を通して、先ほど市の評価にもありましたが、あんしんケアセンターなどの外部機関と非常によく連携して、介護予防などの地域福祉に貢献している姿勢が非常に評価できると思います。

○西尾部会長 他、いかがでございましょうか。私はちょっと広報が気になります。昨年も申し上げたかと思いますが、各センターのホームページです。昨年の段階で非常にさっぱりとしたというか、あまり情報のないホームページでした。先ほど確認しましたら、やはり、ほぼ同様の状況です。報告書ではこれだけのことをお書きになっているわけですから、きっといっぱいやっているのかもしれませんが、ホームページという今非常に有効な媒体を使ってあまり発信されていないのです。言うなれば、とてももったいない状態だと思います。これだけの規模の法人ですから、やってやれないことはきっとないと思いますので、ぜひ改善いただきたいと思います。

○八巻高齢施設課長 高齢施設課でございましょう。この点につきましては、昨年度、西尾部会長からご指摘がございました。ちょっと1年では間に合わなかったのですが、27年度にホームページ検討委員会を立ち上げました。現在は全体を見直すということで、利用者の目線に立った見直しを進めております。今回、間に合えばよかったのですが、検討させていただいて、より良いものに作り変えていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○西尾部会長 はい、是非。いろいろとやっていらっしゃるだけに、もったいない気がしました。あとは、先ほどの中央いきいきプラザのところで、利用者の高齢化による利用減のお話がありましたが、一方で人口の高齢化が進むとベースになる対象者は増えていくわけです。そうすると、いかに65歳になったいわゆる前期高齢者の方を、新たにこのプラザ・センターにお誘いするかが大きな課題かと思います。今後とも、ホームページのリニューアルも含めて努力いただければと思います。はい、事業者の方。

○事業者（中央いきいきプラザ） ご指摘のとおり、中央いきいきプラザでは、全体のご利用者が減ったということです。原因について先ほど同好会云々はありましたが、統計的には団体利用はほとんど横並びですが、個人利用が1,200人ほど下がってしまったことがあります。高齢化は間違いないのですが、おっしゃるとおり来なくなった方の代わりに、新しく来る方を迎え入れなければいけなかったのに、それがなかなか上手くいきませんでした。

今年度はそれを踏まえて、向こうからいらっしゃるのを待つだけではなくて、自ら地域の中に出かけて行って、PRも兼ねて人数を増やしたいということで、具体的には去年まで3か所

で行なっていた出張体操を、あんしんケアセンターや新規支援コーディネーターの皆さんと連携を取り、今年度は新たに3か所増やし、6か所での出張体操を行なっております。その中で、プラザのPRをすることによって、プラザの方に引き寄せる努力を今はしているところでございます。

○西尾部会長 はい、是非。

○鳩川高齢障害部長 すみません。おそらく、その質問は市に投げかけられたものだと思います。今は4人に1人が65歳以上ですが、2025年には3人に1人という時代が来ます。今は事業メニューでこういうものをやっていますが、こういったものを漫然とやっているのではなくて、メニューをいろいろと新しく開発しながら利用者さんを増やしていくこと、あるいは、いま大きな問題である地域包括ケアシステムの構築を視野に入れながら、この施設を利用するという視点で、市では考えています。

○西尾部会長 はい。大きな話かもしれませんが、ことぶき大学校を修了された方と、このセンター・プラザがつながりながら、ボランティア活動の1つの拠点としてセンター・プラザが機能していくような利用の仕方も、あり得るのかもしれないですね。

○鳩川高齢障害部長 そうですね。

○西尾部会長 そういう地域包括ケアシステムを踏まえた方向性が今後出てくると、より活性化するだろうと思います。他はいかがですか。

すみません。細かいことですが、先ほど報告書全体が良いと申し上げたのですが、家族との連携の部分だけ、すごくさっぱりしているのです。例えば、私のメモにあるのですが、2－4で33ページです。他のセンターも一緒ですが、家族との連携の部分はどこも1行なのです。きっと何かやっていらっしゃると思うし、家族からの心配事も含めて、個別事例的にはいろいろと連携があるだろうと思います。ここはもう少し書き込んでいただけると、より改善するのかなと思いました。ここだけ一行でさっぱりしているのです。

他にご意見は、八田委員は何かございますか。いっぱい付箋がついているので。

○八田委員 4－5で30ページ以降になりますが、講演会の内容を書かれるだけではなく、唯一ここに、新たにプラザで開催する講演会に初めて参加した方の割合が書かれていました。そういうデータを分析して、何が新しい利用者の獲得につながるのか、わかりやすく書かれていると思いました。集計は大変だと思いますが、こういうデータを集めるのも大事な点かと思いました。

○西尾部会長 他にご意見はいかがですか。田島委員、どうですか。よろしいですか。

○田島委員 はい。

○松下副部会長 先ほどもお話しをしましたが「事故への対応は適切に行われている」というところで、ヒヤリ・ハットの共有に関してです。今はまだ、いきいきプラザ全体でのシステムにはなっていないので、やっているところには「3」の評価がついているかと思います。やはり、今後については、ヒヤリ・ハットの共有はどこの事業所でも当然のことなので、是非、全プラザ・全いきいきセンターで共有いただけたらと思います。

例えば、資料2－4の8ページに事故への対応が書かれています。今ちょっと全部は拾い出せないのですが、こういうのは、ヒヤリ・ハットで共有していたら防げるようなことではないかと思われる事故が結構あります。是非、ヒヤリ・ハットの共有を全プラザで標準にしていたきたいというお願いです。

○西尾部会長 他はよろしいでしょうか。

特にご発言がなければ「千葉市いきいきプラザにおける施設の管理運営」に関しまして、当部会の意見としましては、報告書が非常に充実してきているので、今後も継続していただきたいこと。若干のところについては、さらにもう一段の努力を期待したいこと、デイサービスが今年度から自主事業にはなっていますが、重度の方を受け入れてきたのは、やはり評価をして良いだろうという点です。また、外部機関との連携、地域福祉を意識した連携が行われており、ここも評価ができます。

ホームページについては、今後改善されるということで、これには是非期待させていただきたいということ、加えてヒヤリ・ハットの全センター共有に向けたシステム構築を努力されると良いのではないかと趣旨で、まとめさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○西尾部会長 ありがとうございます。それでは、その旨決定いたします。

続きまして、「イ 千葉市いきいきセンター」についてです。事務局よりご説明をお願いいたします。

○八巻高齢施設課長 はい。高齢施設課でございます。それでは「千葉市いきいきセンター」について、ご説明させていただきます。

シートの説明に入る前に、千葉市いきいきセンターの概要について少々説明いたします。いきいきセンターは、先ほどご説明した「いきいきプラザ」と同様に老人福祉センターに相当する施設ですが、大きな違いは施設規模の大きさとなります。

プラザが延べ床面積 1,300～1,800 m²に対して、センターは 200～400 m²と小規模な施設であり、いきいきプラザを補完する施設として整備しているものでございます。このいきいきセンターは市内に 9 か所整備しておりますので、この 9 施設につき評価をしていただきます。

それでは、「千葉市いきいきセンター」について、ご説明いたします。センターにつきましては、指定管理区分別に資料を作成している関係で、説明の順序が区ごとではなくて若干前後いたしますが、ご了承をお願いしたいと考えております。

なお、いきいきセンターは浴室がないことと、デイサービス事業を行っていないこと以外は、プラザとほぼ同様の事業を実施しておりますので、プラザと同様の内容については、説明を省略させていただきたいと考えております。

最初に、「花見川いきいきセンター」について、ご説明いたします。資料 2-2 をご覧いただけますでしょうか。まず「2 管理運営の実績」(2) 利用状況についてですが、利用者数は 35,640 人で、前年度利用者数と比較して、ほぼ横ばいでございます。

次に、3 ページをお開きいただけますでしょうか。「5 市による評価」ですが、花見川いきいきセンターに対する市の評価は「A」といたしました。所見といたしまして、概ね良好に管理運営されており、講演会や世代間交流事業が基準を上回っている点や、利用者のニーズに合わせ、講座や講演会の内容や回数について、柔軟に対応している点を評価いたしました。

次に「履行状況の確認」についてです。花見川いきいきセンターでは、事業の実施の「講演会及び世代間交流」を、管理運営の基準を上回る回数で実施しておりましたので「3 点」といたしました。

その他の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2 点」

といたしました。「花見川いきいきセンター」の説明は、以上でございます。

次に「あやめ台いきいきセンター」について、ご説明いたします。資料3-2をご覧くださいませうか。まず「2 管理運営の実績」(2) 利用状況についてですが、利用者数は12,961人で、前年度を1.1%下回っています。これにつきましては、あやめ台小学校の耐震工事が実施され、センターを約1か月間休館したことにより、個人利用や同好会の利用が減少したことが要因だと考えられます。

次に、3ページをお開きいただけますませうか。「5 市による評価」ですが、評価は「A」といたしました。所見でございますが、概ね良好に管理運営されており、世代間交流事業について基準を上回って開催している点や、地域の介護予防ニーズに応え、出張体操等の取組みを積極的に行っている点を評価いたしました。

次に、「履行状況の確認」についてですが、事業の実施において世代間交流を管理運営の基準を上回る回数で実施しておりましたので、「3点」といたしました。また、同好会の支援・個人利用機会の提供につきましては、同好会の登録が適切に行われなかった事例がありましたので「1点」といたしました。

その他の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」といたしました。「あやめ台いきいきセンター」の説明は、以上でございます。

次に、「大宮いきいきセンター」について、ご説明いたします。資料4-2をご覧くださいませうか。まず「2 管理運営の実績」(2) 利用状況ですが、利用者数は12,681人で、前年度を14.3%上回っています。これにつきましては、「講演会」「世代間交流」「訪問健康相談」について内容の充実を図り、かつ開催回数を増やすことにより、参加者数増につながったことが要因だと考えられます。

次に、3ページをお願いいたします。「5 市による評価」ですが、評価は「A」といたしました。所見でございますが、概ね良好に管理運営されており、世代間交流事業について基準を上回って開催している点や、地域の関係団体と連携し、地域の介護予防の取組みに貢献している点を評価いたしました。

次に「履行状況の確認」についてですが、(2) 施設の効用の発揮、施設管理能力のうち、世代間交流において管理運営の基準を上回る回数を実施しておりましたので、「3点」といたしました。また、同好会の支援・個人利用機会の提供については、同好会活動の使用承認において適切な承認がされていなかった事例がございましたので、「1点」といたしました。

その他の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」といたしました。「大宮いきいきセンター」の説明は、以上でございます。

次に「都賀いきいきセンター」について、ご説明いたします。資料4-3をご覧くださいませうか。まず「2 管理運営の実績」(2) 利用状況についてですが、利用者数は29,034人で、前年度を4.7%上回っています。これにつきましては、講演会の内容の充実を図り開催回数を増やしたことや、同好会の登録団体数が増えたことが要因だと考えられます。

次に、3ページをお開きいただけますませうか。「5 市による評価」ですが「A」といたしました。所見でございますが、概ね良好に管理運営されており、講演会について管理運営基準を上回って開催している点や、講演会のテーマや回数を利用者や地域社会のニーズに合わせて変更し、利用者増につながっている点を評価いたしました。

次に「履行状況の確認」ですが、事業の実績として、講演会について管理運営基準を上回る

回数実施しておりましたので「3点」としました。また、緊急時の対応として、防火管理者の更新講習が未受講だった事例がありましたので、「1点」といたしました。

その他の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」といたしました。「都賀いきいきセンター」の説明は、以上でございます。

次に「越智いきいきセンター」について、ご説明いたします。資料5-2をご覧くださいませうでしょうか。まず「2 管理運営の実績」(2)利用状況ですが、利用者数は11,105人で、前年度を7.6%上回っています。これにつきましては、脳トレ教室や日曜日のラジオ体操といった新規事業を実施したことや、同好会の登録団体数が増加したことが要因だと考えられます。

次に、3ページをお開きいただけますでしょうか。「5 市による評価」ですが「A」といたしました。所見でございますが、概ね良好に管理運営されており、地域の関連機関と定期的な情報共有を行い、地域とともに認知症予防や介護予防に取り組んでいる点を評価いたしました。

次に、「履行状況の確認」についてですが、いずれの項目につきましても、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」といたしました。「越智いきいきセンター」の説明は、以上でございます。

次に「蘇我いきいきセンター」について、ご説明いたします。資料7-1をご覧くださいませうでしょうか。まず「2 管理運営の実績」(2)利用状況ですが、利用者数は18,297人で、前年度を17.8%上回っています。これにつきましては、同好会の登録団体が6団体増加したことや、個人利用者が増加したことが要因だと考えられます。

次に、3ページをお願いいたします。「5 市による評価」ですが、蘇我いきいきセンターに対する市の評価は「A」といたしました。所見として、概ね良好に管理運営されており、講演会や世代間交流事業が基準を上回っている点や、いきいきセンターフェスティバル等の地域交流イベントに力を入れ、新規利用者の獲得や施設のPRに努めている点を評価いたしました。

次に「履行状況の確認」についてですが、事業の実施において、講演会や世代間交流を管理運営の基準を上回る回数で実施しておりましたので、それぞれ「3点」を、地域交流事業については、いきいきセンターフェスティバル等のイベントの企画運営を積極的に行い、基準以上の運営がなされていたので「3点」といたしました。

その他の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」といたしました。「蘇我いきいきセンター」の説明は、以上でございます。

次に「さつきが丘いきいきセンター」について、ご説明いたします。資料7-2をご覧くださいませうでしょうか。まず「2 管理運営の実績」(2)利用状況ですが、利用者数は19,170人で、前年度を7.1%上回っています。これにつきましては、講演会内容の充実を図り、開催回数を増やしたことが要因だと考えられます。

次に、3ページをお願いいたします。「5 市による評価」ですが、評価は「A」といたしました。所見ですが、概ね良好に管理運営されており、講演会や世代間交流事業が基準を上回っている点や、地域の関係団体と連携し、地域の介護予防に積極的に取り組んでいる点を評価いたしました。

次に「履行状況の確認」についてですが、事業の実施において「講演会及び世代間交流」を管理運営基準を上回る回数で実施しておりましたので、それぞれ「3点」といたしました。

その他の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」といたしました。「さつきが丘いきいきセンター」の説明は、以上でございます。

次に「真砂いきいきセンター」について、ご説明いたします。資料7-3をご覧くださいませうでしょうか。まず「2 管理運営の実績」(2) 利用状況ですが、利用者数は21,762人で、前年度を6.9%上回っています。これにつきましては、同好会が4団体増加したことや、真砂コミュニティーセンターの移転に伴い、個人利用者が増加したことが要因だと考えられます。

次に3ページをお願いいたします。「5 市による評価」ですが、「A」といたしました。所見ですが、概ね良好に管理運営されており、講演会や世代間交流について、基準を上回って開催している点や、講演会のテーマ及び回数を利用者や地域社会のニーズに合わせ変更し、利用者増につながっている点を評価いたしました。

次に「履行状況の確認」についてですが、事業の実施の「講演会及び世代間交流」について管理運営基準を上回る回数で実施しておりましたので「3点」といたしました。その他の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」といたしました。「真砂いきいきセンター」の説明は、以上でございます。

最後に「土気いきいきセンター」について、ご説明いたします。資料8-1をご覧くださいませうでしょうか。まず「2 管理運営の実績」(2) 利用状況ですが、利用者数は12,009人で、前年度を13.4%上回っています。これにつきましては、日曜日のラジオ体操といった新規事業を実施したことや、世代間交流の内容充実を図り、開催回数を増やしたことが要因だと考えられます。

次に、3ページをお願いいたします。「5 市による評価」ですが、「A」といたしました。所見ですが、概ね良好に管理運営されており、世代間交流については基準を上回って開催している点や、地域の関係機関との連携により地域福祉の問題に取り組み、センターでの事業内容に取り入れている点を評価いたしました。

次に「履行状況の確認」についてですが、事業の実施の「世代間交流」が管理運営基準を上回る回数で実施しておりましたので、「3点」といたしました。

その他の項目につきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」といたしました。

センター全体といたしまして、利用者の増が認められました。講演会など事業内容の充実や新規事業の実施など、利用者増に向けた取組みは評価できるものと考えております。いきいきセンターの年度評価に関する説明は、以上でございます。よろしくお願いいたします。

○西尾部会長 はい。それでは、質疑応答から行いたいと思います。ご質問のある委員はお願いいたします。

○八田委員 資料3-2の、あやめ台いきいきセンターの収支状況のところ。(3) 収支状況の②支出実績で、上から3段目の事業費が計画比に対し68.3%ということで、大幅に低い数値になっています。全体では110.7%ですが、どういう理由でこの部分が低くなっているのか、ご説明いただければと思います。

○西尾部会長 いかがでしょうか。

○事業者(社会福祉事業団事務局) 先ほどのご説明の時にありましたように、ほぼ1か月休館のような状態になりましたので、その関係で支出が減ったということになります。

○西尾部会長 それにしても大きいですね。1か月、つまり12分の1休んだのと68%というのは、そのままでは素直に理解できない感じがするのですが、他に要因はなかったのでしょうか。事業費が8%減ったのであれば1か月休んだ事業費ということになりますが、でも事務

費は落ちていないので、何でしょうか。何か予定していたのに中止した事業等があったということではないのでしょうか。

○**鳩川高齢障害部長** ご質問をもらっている間にちょっと調べますので、他のご質問があれば先にいただいてください。

○**西尾部会長** では、それ以外で、はい。

○**八田委員** では、同じあやめ台です。資料3-4で6ページの苦情解決ですが、センターのトイレのつまりが頻繁にあり、多くのご利用者様より対策を望む声が聞かれ「精神的な不安からさまざまな授業で欠席される方が多数いらっしゃいました」ということがありました。今はどうなっているかと、ちょっと心配になりました。

○**村松高齢施設課主査** 高齢施設課の村松でございます。こちらのあやめ台につきましては学校の施設に中に入っている関係がございまして、管が学校の所管か、うちの所管かわからなくて、今年度に入りカメラを入れまして調べたところ、学校の方で陥没していることがわかりました。ですから、学校施設課の方をお願いして、現在は応急処置というか修繕をお願いしてございます。

ちょっと不確かですが、7月に修繕を行ったという話は聞いております。その前の調査した段階でもいったん掘り返して、陥没したところに蓋をかぶせております。現在のところは詰まりがないと聞いております。ご利用者にはご迷惑をおかけしたのですが、現在のところは順調であるということです。

○**八田委員** 良かったです。ありがとうございます。

○**事業者（社会福祉事業団事務局）** よろしいですか。先ほどの件ですが、あとはコピー機の機種変更によるリース料の大幅な削減と、先ほどご説明した講師謝礼など諸々の課目が入ります。1か月の講師料などがメインということで、執行の減額についての大きな要因になると思います。

○**八田委員** ありがとうございます。

○**西尾部会長** 他、ご質問いかがでしょうか

○**八田委員** 蘇我いきいきセンターの資料7-4の7ページで、一番下の方の（8）危機管理の「防災対策」のところですか。他の施設では防災訓練を年に2回とか3回実施しますと書いてありますが、ちょっと漏れたのか、蘇我いきいきセンターだけその記述がありません。資料7-5の4ページを見ると、実際には防災訓練をされていますが、1回のみということです。他施設では2回はされているので、回数として大丈夫なのかということと、事業計画の方は漏れていたのかどうかを含めて、ご説明をお願いしたいと思います。

○**事業者（中央いきいきプラザ）** 蘇我いきいきセンターの建物自体が、前の保健福祉センターということで、2階部分が健全育成課の子どもの関係の施設になっています。それで、施設全体の所管課は健全育成課であり、防火管理者もそちらの氏名になっています。もちろん防災訓練等も2回、3回は必要だと思いますので、現実的に1回しかできなかったことを踏まえ、うちの方からも2階の子どもの関係と打ち合わせを行いました。健全育成課さんをお願いをして、規定どおりの訓練をやってほしいという要望は出しているところです。

○**八田委員** 規定どおりというのは…。

○**事業者（中央いきいきプラザ）** 年2回です。

○**八田委員** 年2回というのが規定どおりなのですね。はい。ありがとうございます。

○事業者（中央いきいきプラザ） すみません。漏れましたが、健全育成課との合同の訓練については1回でしたが、蘇我では2回必要だということで、10月に起震車を呼んでいきいきセンター独自の防災訓練を行っております。ちょっと抜けておりまして、すみません。いきいきセンターとしては2回行っております。

○八田委員 2回行なっているんですね。

○事業者（中央いきいきプラザ） 資料の22ページになりますが、蘇我で、区の方に起震車に乗ってみようということで。

○八田委員 起震車ですね。地震を起こす、ガタガタという…。

○事業者（中央いきいきプラザ） そうですね。

○八田委員 地震想定避難訓練を行なっているんですね。ありがとうございます。

○西尾部会長 これは、所管課に対してかと思いますが、各センターで利用者数がだいぶ違いますよね。多い所と少ない所では、3倍ぐらい年間の利用者数は違うかと思いますが、これには所管課として目標等の設定はあるのですか。

○八巻高齢施設課長 目標というのは、前年度を基準に高齢者の伸びを加味して出しているのですが、センターについては施設ごとに100何㎡か、大きさに開きがあります。定員としての利用者数には、制限やばらつきがあるところをご理解いただきたいと思います。

○西尾部会長 地域の状況や建物の状況で数が違ってくるのは当然のことかと思いますが。前年度の実績に対する比率はわかったのですが、このくらいの数値を出してほしいという目標値は設定しているのか、もしくは事業者さんと…。

○八巻高齢施設課長 はい、毎年設定しております。はい、目標数は設定しております。

○西尾部会長 それは、どこかに出てくるのですか。この資料には出てこないのですか。前年度比は…。

○八巻高齢施設課長 計画…。

○西尾部会長 計画、目標値というのが…。

○八巻高齢施設課長 ええと、Cのですね、利用状況の目標値というのが、

○西尾部会長 所管課の設定した目標値ですか。

○八巻高齢施設課長 所管課というよりは、指定管理者との協議の上で。

○西尾部会長 はい。わかりました。ありがとうございます。他にご質問いかがでしょうか。ご質問がなければ「意見協議」に入りたいと思います。意見としていかがですか。何かございますか。

○八田委員 もう1つ、同好会のあやめ台と大宮に「1」がついていたと思いますが。

○西尾部会長 同好会の管理の部分ですね。

○八田委員 管理の部分です。どういう状況があったのか教えていただきたいのですが。

○渡邊高齢施設課主事 高齢施設課の渡邊と申します。今回、あやめ台と大宮で「同好会の個人利用の提供」というところで「1」をつけました。あやめ台のセンターに関してですが、千葉市社会福祉事業団の管理マニュアルにおいては、10人以上の団体に対して同好会として登録し、それに対して月2回、年間をとおしての使用を認めている状況があるのですが、それに対して10人以下の団体を承認していたケースがありました。

また、大宮に関しては、登録時に申請した人数よりも実際に使っている方が、例えば見学であつたり他のそういった方を含めたとしても、定期的に人数を超えて利用しようとしているケ

ースがありました。その場合に関しては、登録の変更等が必要になってきますが、適切にそれが改善されていなかったということで「1」としました。

○八田委員 10人を下回ると解散をしなければいけないことになるのですね。結構「同好会の解散が高齢化などで相次いでいる」という記述が、いろんなところで目立ちましたが、10人を下回ったために解散する状況なのでしょうか。

○渡邊高齢施設課主事 現状、市としては登録自体を10人以上としています。10人以下に下回った場合は、一般利用としての団体利用が可能です。それで、どうか対応をお願いします。他の利用者との兼ね合いもありますので、そこはお願いをしています。

○八田委員 ありがとうございます。

○西尾部会長 特にご意見はございませんか。

特に、各委員からご意見がないということであれば、「千葉市いきいきセンターにおける施設の管理運営」に関しまして、当部会の意見としては市の評価のとおり「概ね適切に運営されている」という趣旨でまとめさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○西尾部会長 ありがとうございます。それでは、その旨決定をいたします。

ここでいったん、10分程度休憩ということですが、25分でよろしいでしょうか。10分ちょっとありますが、25分再開ということでもよろしく願いいたします。

(午後3時11分休憩)

(午後3時25分再開)

○西尾部会長 それでは、部会を再開いたします。

議題「ウ 千葉市幸老人センター」に入ります。事務局よりご説明をお願いします。

○八巻高齢施設課長 はい、高齢施設課でございます。それでは「千葉市幸老人センター」について説明させていただきます。

シートの説明に入る前に、千葉市幸老人センターの概略についてご説明いたします。幸老人センターは、昭和48年に整備された老人クラブ等が、研修やレクリエーション活動及び趣味活動を行うことにより、高齢者が健康で生きがいのある生活を営むことを目的とした施設です。美浜区幸町内にある軽量鉄骨2階建ての建物のうち、2階部分を老人センターとして使用しております。

なお、平成25年3月31日をもって、1階の児童福祉センターが廃止されたことに伴い、平成25年4月1日より、1階部分におきましても高齢施設課が所管しておりますが、老人センターの諸室の範囲については、これまでと同様となっております。

それでは「千葉市幸老人センター」の評価について、ご説明いたします。資料9-1をご覧くださいませでしょうか。まず、「管理運営の実績」の(2)利用状況ですが、平成27年度の利用者数は5,788人で前年度を20%下回っております。これは、平成27年度において自治会が会議等で使用する回数が、前年度比較で85回、延べ利用者数としては1,048人減少したことが大きな要因だと考えております。

次に、2ページをお願いいたします。「5 市による評価」ですが「A」といたしました。所見としては、概ね良好に管理運営されおり、地域に密着した施設運営がなされている点の評価いたしました。また、今後はアンケートや意見聴取をより多くの利用者に対し実施し、利用者ニーズをくみ取った施設運営をさらに心がけていただきたいといたしました。

次に「履行状況の確認」についてですが、仕様、提案どおりの実績・成果が認められましたので「2点」としております。説明は以上でございます。

○西尾部会長 はい。それではまず、質疑応答から行いたいと思います。ご質問がございましたらお願いいたします。

やはり、こちらの施設は建物が心配なのが一番大きなポイントかと思いますが、耐久性などは大丈夫なのでしょうか。

○八巻高齢施設課長 はい、高齢施設課です。やはり、耐震基準でIs値0.29というのは変わっていない状況です。一応、軽量鉄骨なので、柔軟性はあるとはいえ、大きな地震等には倒壊の恐れがある数値です。今回は27、28年と2年間の指定しているところですが、なるべく早く代替施設への移行については検討しているところです。

○西尾部会長 今、1階部分はほとんど何も使っていないくて、2階部分でこちらのセンターが運営しているということですか。

○八巻高齢施設課長 はい。1階部分は自治会の方が目的外使用という形で、今までどおり使っておりますので、子どもさんがいたりとか、そういう使い方はしております。

○西尾部会長 はい。他、ご質問はいかがですか。特によろしければ「意見協議」に入りたいと思います。なお「指定管理者の財務状況」につきましては、当該施設の指定管理者が地元の自治会であることから、特段、委員の皆様からのご意見はいただきませんので、ご了承願います。

ご意見いかがでしょうか。特段、何もないかというような感じもいたしますが。

○嶋川高齢障害部長 今、市の方で心配しているのは、部会長さんが言われましたように、48年という非常に古い施設であることです。公の施設としても、やはり特殊性を含んだ施設なのです。自治会も実際に使っているということなので、市としては先ほども説明をしましたが、やはり早めに代替施設を確保するのが一番大事だと思います。

ですから、そういった部分で、2階部分ということだと、利用者が減っている理由としては、やはり高齢化が非常に進んでいることです。まず、そこに行けないということで、2階まで上って行くのも大変だという事情もありますので、早めに代替施設を見つけていくのが、やはり必要かと思います。

○西尾部会長 はい。地域の方々がさまざまに利用されていて、それで地域がつながっていくのであれば、それはそれでとてもありがたいことかとは思いますが。

○嶋川高齢障害部長 非常に貴重な施設だとは思っております。

○西尾部会長 ご発言がなければ「千葉市幸老人センターにおける指定管理者による施設の管理運営」に関しまして、当部会の意見としては、「適切に運営されている」という趣旨でまとめさせていただきたいと思います。

本日、部会として決定しました意見の文言の整文等については、私にご一任いただきたいと思います。と思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○西尾部会長 ありがとうございます。その旨決定をいたします。

本日予定されております議題については、以上で終了となります。これをもちまして、平成28年度 千葉市保健福祉局指定管理者選定評価委員会 第1回 高齢者施設部会を閉会といたします。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

○小野保健福祉総務課主査 ありがとうございました。委員の皆様、大変お疲れ様でございました。

最後に、1点だけ事務連絡です。本日の会議の議事録を作成する関係ですが、後日、内容のご確認を皆様をお願いする予定です。案を作成し次第、事務局よりご連絡いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、本日は以上となります。どうもありがとうございました。

千葉市保健福祉局指定管理者選定評価委員会

高齢者施設部会

部会長 _____